事業所名 放課後等デイサービス マルシュ町田センター

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和7年 5月 29日

法人（事業所）理念	たくさんのお友だちと様々な「遊び」や「体験」を一緒に経験しながら、子どもの「やりたい！」を言う権利を尊重・応援していきます。		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人ひとりに合わせた生活支援 ・小集団の中で様々な経験をする機会を設け、知的好奇心や自分で考える力を身につけてもらう 		
営業時間	平日 土曜・長期休暇	10時00分から 18時00分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な体調管理、子どもの発達状態や特性に十分な配慮を持ったうえで心身の状態を確認、異変に素早く気付き対応を行う ・基本的な生活スキルの獲得を目指し、身支度や持参している荷物の管理、手洗い等の支援を行う 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どもの運動機能や得手不得手に合わせた活動設定を行い、楽しみながら参加しつつ身体操作や微細運動の能力向上、使い方のコツを身につける（モルック、ポッチャ、ストラックアウト、ドッジビー、製作活動など） 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの認知特性の理解、把握に努め、自身にインプットされてくる情報をスムーズに処理出来るよう支援を行う ・五感の中で特に視覚・聴覚・触覚の認知が鋭敏に行えるようになるプログラムの実施（粘土、歌や楽器、調理、お金や時間の計算など） 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自身に合った表現方法で意思疎通が他者と相互に行えるよう支援を行う（言語） ・他者との関わりを通し、相手の気持ちも理解できるよう支援を行う 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の気持ちを他者に伝える発信力が身につけられるような機会を多く設ける ・同じ趣味や興味、遊びを共有出来る小集団の中で自身にあったコミュニケーション方法で気持ちや感情の共有・発信・受容が行えるようになる 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時やHUGでのメッセージ、電話を通しご家庭での様子も共有してもらいつつ、支援者と同じ方向を向いて支援・子育てが出来る関係性の構築 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校卒業に合わせ、その先のビジョンが持てる支援 ・希望に応じた移行先との支援方法や支援過程の共有
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校、各施設と統一した支援が行えるよう教員や支援員、相談支援専門員等との連携の実施 ・地域の食堂等と連携し、子どもたちの買い物学習や外食体験などの活動を実施 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画に基づき計画的に実施、職員の質の向上に努めている（虐待防止研修・防災訓練・感染症対策・BCPの実施・ケース会議など）
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、バーベキュー、クリスマス、節分 ・土曜日、長期休暇中の外出活動（工場、施設見学・山登り・フィールドワーク・外食体験など） 		